

# 「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業 令和7年度公募 応募に関する留意事項

---

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

ゲノム・データ基盤事業部 医療技術研究開発課

# 「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業

## 概要

国民及び医療従事者の健康保持や疾病治療・予防の選択肢を増やし、医療の質の向上をはかることを目的として、統合医療における漢方、鍼灸及び各種療法に関する各研究を推進することによって、安全性・有効性等の観点から科学的根拠に基づく新たな質の高い臨床研究への展開に資する知見を創出し、将来的に患者・国民及び医師などに還元することを目標とする。

※ 平成27年度よりAMEDにおいて研究事業として開始。



健康保持や疾病治療・予防の選択肢の増加による、医療の質の向上

統合医療の発展や国内産業の競争力強化のための土壌形成

# 公募対象課題

#	公募研究開発課題(分野、領域、テーマ等)	研究開発費の規模 (間接経費を含まず)	研究開発実施 予定期間	採択課題予定数
<b>1. 「統合医療」についての科学的知見の集積に関する研究</b>				
1-1	－A【若手育成枠】漢方や鍼灸等の各種療法に関する科学的な根拠の収集と知見の創出のためのプロトコール作成研究	1課題当たり年間 2,000千円(上限)	最長1年 令和7年4月(予定) ～令和7年度末	0～1課題程度
	－B漢方や鍼灸等の各種療法に関する科学的な根拠の収集と知見の創出のためのプロトコール作成研究			0～1課題程度
1-2	－A【若手育成枠】漢方や鍼灸等の各種療法に関する科学的な根拠の収集と知見の創出のための基礎的研究	1課題当たり年間 3,000千円(上限)	最長2年 令和7年4月(予定) ～令和8年度末	0～1課題程度
	－B漢方や鍼灸等の各種療法に関する科学的な根拠の収集と知見の創出のための基礎的研究			0～1課題程度
1-3	漢方や鍼灸等の各種療法に関する科学的な根拠の収集と知見の創出のための臨床研究	1課題当たり年間 8,000千円(上限)	最長3年 令和7年4月(予定) ～令和9年度末	0～2課題程度
<b>2. 「統合医療」についての西洋医学との組み合わせ・融合に関する研究</b>				
2-1	ライフコースに基づく健康課題に関する漢方等の活用による安全性・有効性の評価や知見の集積に関する研究	1課題当たり年間 4,000千円(上限)	最長2年 令和7年4月(予定) ～令和8年度末	0～1課題程度
<b>3. 「統合医療」の実態把握、基盤整備に関する研究</b>				
3-1	東洋医学の「証」を活用した「統合医療」の実態把握や基盤整備に関する研究	1課題当たり年間 5,000千円(上限)	最長2年 令和7年4月(予定) ～令和8年度末	0～1課題程度

# 応募に必要な書類

No	必須/任意	必要書類	備考
1	必須	(様式1)研究開発提案書	
2	必須	(様式自由)ロードマップ	
3	一部必須	(様式2)コンセプトシート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募課題1-1-A【若手育成枠】プロトコール作成研究</li> <li>・公募課題1-1-B プロトコール作成研究</li> <li>・公募課題1-3 臨床研究においては、必須</li> </ul>
4	一部必須	研究計画書を含む倫理審査委員会申請書類一式、もしくは申請予定書類一式	・公募課題1-3 臨床研究においては、必須
5	一部必須	(様式3)CONSORT2010チェックリスト抜粋版	※ ランダム化比較試験を行う場合は必須
6	一部必須	(様式4)ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式	※ ヒト全ゲノムシーケンス解析を実施する場合は必須
7	一部必須	財務状況資料	※ 研究開発代表者の所属機関がスタートアップ企業等の場合は必須
8	任意	PMDAの対面助言の記録等	
9	任意	研究開発課題に関する参考資料等	

# 提案書類の受付期間・選考スケジュール

提案書類受付期間	令和6年11月20日(水)～令和6年12月20日(金)【正午】(厳守)
書面審査	令和7年1月～2月
ヒアリング審査	令和7年2月17日(月)・2月18日(火)(予定)
採択可否の通知	令和7年3月上旬(予定)
研究開発開始(契約締結等)日	令和7年4月(予定)

**(A) 事業趣旨等との整合性**

- ・ 事業趣旨、目標等に合致しているか
- ・ 安全性・有効性等の観点から科学的根拠に基づく、新たな科学的知見を創出する研究であるか
- ・ 統合医療に関する知見の整理が見込まれるか

**(B) 技術的意義及び優位性**

- ・ 独創性、新規性を有しているか
- ・ 社会的ニーズに対応するものであるか
- ・ 医療分野の研究開発に関する国の方針に合致するものであるか
- ・ 医療の質向上に資するものであるか
- ・ 新技術の創出に資するものであるか

**(C) 計画の妥当性**

- ・ 全体計画の内容と目的は明確であるか
- ・ 年度ごとの計画や達成目標は具体的なもので、かつ、実現可能であるか
- ・ 研究全体の工程表及び実現可能なマイルストーンが明記されているか
- ・ 生命倫理、安全対策に対する法令等を遵守した計画となっているか

**(D) 実施体制**

- ・ 統合医療の専門家が研究全体を統括しているか
- ・ 現在の技術レベル及びこれまでの実績は十分にあるか
- ・ 研究開発代表者を中心とした研究開発体制が適切に組織されているか
- ・ 十分な連携体制が構築されているか
- ・ 臨床研究の場合は、疫学・生物統計学の専門家が関与しているか
- ・ 倫理指針に基づいた研究が実施できる体制が整備されているか
- ・ 申請者等のエフォートは適切であるか

**(E) 所要経費**

- ・ 経費の内訳、支出計画等は妥当であるか

## 留意事項

- ◆ 公募要領をよく読んでご確認のうえ、提出期限までに応募してください。
- ◆ 提出書類に不備がある場合は、「不受理」となる場合があります。
- ◆ 申請者等のエフォートや、経費等の記載間違いがないように確認してください。
- ◆ 提案書類の受付は、**令和6年12月20日(金)正午まで**となります。
- ◆ 提出期限を過ぎた場合には、一切受理できませんのでご注意ください。
- ◆ 提案書類の提出はe-Radからになりますが、締切直前は、アクセス集中のため不具合が発生する場合があります。また、機関承認が間に合わないケースが散見されています。必ず期限に余裕を持って提出してください。